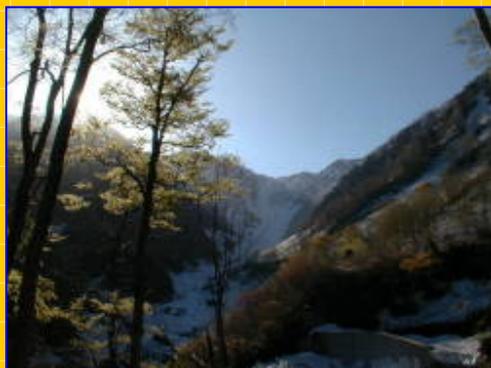


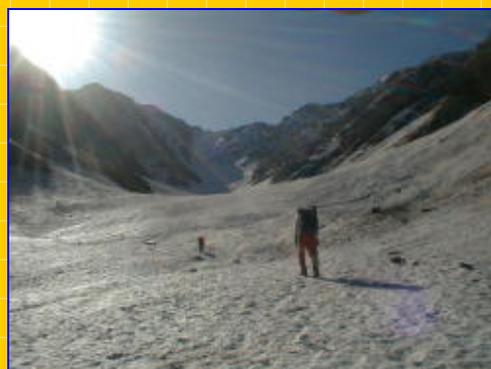
## 春山情報 7号 5/12

5/12 富山では、しばらく立山連峰の姿があまりはっきり見られなかったが、今日は久しぶりの、春には本当に珍しいほどのすばらしい快晴に恵まれた。今日の予定は、僧ヶ岳の第3コース、別又谷コースのつもりで出発したのであったが、結局南又谷から猫又山へ行くことになった。さらに、身体の調子も、天気もよかったので、目的以上の毛勝三山〔猫又山、釜谷山、毛勝岳〕を完全往復縦走することになってしまった。・・・剣岳を真正面に見ることができ、本当に春山を堪能した1日であった。

今日は、南又は下見のつもりであったが、結局、うんよく車が通ることができた。除雪も順調で発電所の上の道まで車で行くことができたので、ルートを変更し、猫又谷へ行くことにした。猫又谷の雪渓への取り付きから見た猫又山、猫又谷は、朝日に輝いてすがすがしく、まさに登山日和である。(7:00)



雪渓の最初はところ雪解けで、清らかな川の流れにホット心が和んだ。その後は、ただ広々とした雪渓が続いているのみ。毛勝岳の阿部木谷と違って、でぶりがほとんどなく、安心してひたすらただ登るのみ。春は始めてなので、登山者に聞くと、登るのに5時間・・・?



ここは、スキヤーの別天地であ。ちょうど、富山では著名な「佐伯郁夫」さんを中心として、全国から集まった、アルペンスキーの会のメンバーが登っていた。写真は、メンバーの皆さん。次の写真は、猫又谷の上部からの猫又谷の全景。結局、さほどの急斜面ではなかったので、ピッケルのみ、アイゼンなしで登ることができた。しかし、縦走路は、やや危険なのでアイゼンが必要である。



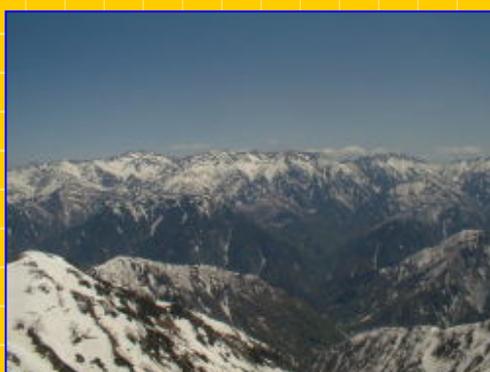
とうとう、目的の猫又山の鞍部に着いた。いきなり、目の前に剣岳が現れる豪快さは、感動は一言では言い表せない素晴らしさである。この季節に、日中これほど視界がよいのは珍しいと思う。

これから、毛勝岳へ向かうグループに出会った。右の写真は、猫又山頂上にて、向こうにはこれから縦走する釜谷山、毛勝岳が見える。

( 1 0 : 0 0 )

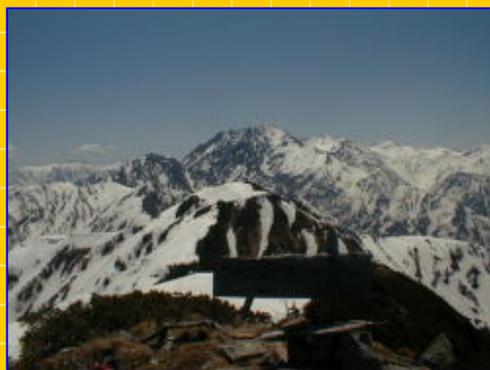


猫又山の頂上からの展望、赤谷山を手前に剣岳本峰を望む。〔赤谷山は、次に行きたい山だ。〕  
後立山連峰、見渡す限り山・山・山・山・山・絶景である。



釜谷山の雄姿、途中の鞍部で、釜谷から登ってきた登山者と出会った。釜谷はやや急であるが、一番近いらしい。右の写真は、釜谷山の頂上から猫又山、剣岳を望む。デジタルカメラのため露出がかぶったので残念。( 1 1 : 0

0 )



後立山連峰を連写してみた。左から、朝日岳・白馬岳・唐松岳・五竜岳・鹿島槍ヶ岳・爺ヶ岳・針の木岳などが一望できる。一度、春ここへ来ると「とりこ」になるに違いない・・・



いよいよ、毛勝岳手前の鞍部、阿部木谷の上部に着いた。天気が急変、剣岳が最後の見納めになってきた。このあと、猫又山への戻りの縦走は、ガスで周りがやや見えにくいになってきた。右の写真は、毛勝岳最後の登りである。



毛勝岳までの縦走路には、一人しかいなかったが、ここ阿部木谷からの毛勝岳へのコースは、満員御礼。スキーヤーと登山者が半々というところか・・・でぶりが多く滑りにくいと言う話であった。スキーは、やはり、猫又谷の方がベストのようだ。

山頂は、のどかで、のんびりムードがただよう。ここで昼食を摂ったが、ゆったりと最高の一時であった。しかし、ガスで景色が今一つだったので残念、こちらからの僧ヶ岳が是非見たかったのだが・・・

( 1 2 : 0 0 )

:復路の行程	釜谷山	( 1 3 : 0 0 )	1時間
	猫又山	( 1 4 : 0 0 )	1時間
	猫又谷雪渓の取付き	( 1 5 : 0 0 )	1時間

\* 本当に疲れたました。・・・猫又山からなんと1時間で下ったので、ちょっと足が痙攣 ? [笑・・・]

## 剣岳北方稜線毛勝三山へ行く